

草木も眠る丑三つ時…といっても怪談ではありません。

熱帯夜の寝苦しさを解消するために、扇風機をつけて就寝しているときに発火する怖〜い事故(話)が発生しています。

暑さを乗り切るための必需品といえば、扇風機とエアコン。しかし、使い方の誤りやメンテナンス不足が原因で、火災などの事故が発生することも。

安全に使用するための、注意するポイントを紹介합니다。

■扇風機を使うときの注意点

古い扇風機は経年劣化による火災に注意

扇風機の火災事故は、製造から10年以上経っている製品で多く発生しています。その主な原因は経年劣化(長年の使用によって製品内部の部品が劣化して性能が低下すること)で、劣化した部品が使用中に発熱や発火し、火災につながっています。

スイッチを入れても動かなかった扇風機を、そのまま放置して火災になった事例もあります。



【こんな異常に注意】

- ・スイッチを入れても、羽根が回らない
- ・羽根が回っても回転が異常に遅い、不規則
- ・羽根が回転するときに異常な音や振動がする
- ・モーター部分が異常に熱い、焦げくさい
- ・羽根にヒビが入っている
- ・ガードが変形している
- ・電源コードが折れ曲がったり破損している
- ・使用中に電源コードに触れると、羽根が回ったり回らなかったりする

電源を入れたまま、羽が回らない扇風機を放置した燃焼実験。

後方から出た煙は炎に変わり、周りのものにも引火。



■エアコンを使うときの注意点

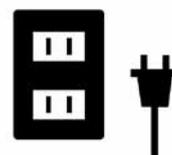
室内機・室外機ともに異常がないか、確認を

エアコンの火災事故は、電源コードがねじれていたり、延長改造で接続部分をビニールテープで巻いていたり、専用のコンセントに直接つなぐせず、通常の延長コードで使用するなど不適切な接続が原因で、配線が熱を持ち発火しています。

また、エアコン洗浄により、洗浄液が機器内部に残っていて異常通電現象が起きて発煙・発火する事故も発生しています。

【こんな異常に注意】

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い
- ・電源プラグが変色している
- ・焦げくさいにおいがする
- ・ブレーカーが頻繁に落ちる
- ・異音がする
- ・室内機から水漏れがする



電源コードをねじれさせて設置したエアコンの燃焼実験

【令和3年町内の火災等発生状況】



発生区分	6月中	累計
火災	建物	0 3
	車両	0 0
	林野	0 0
	その他	1 1
	警戒出動	2 10
救急出動	107 677	
救助出動	2 8	

問 益城西原消防署 ☎ 286-2119

■冷房器具や家電製品にも寿命があります！

長年使用してきた家電製品は、長期間の使用や保有による経年劣化で、発煙や発火などの危険な状態が起こることがあります。異音がしたり、使用中に製品が勝手に停止するなどの不具合が発生したら、直ちにコンセントから電源プラグを抜いて使用を中止しましょう。